

永福の本欄

2018/6

「THE 達人！」



6月の特集

特集コーナー

「THE 達人！」

『舞うひと 草刈民代×古典芸能のトップランナーたち』

草刈民代／著 浅井佳代子／写真 淡交社
請求記号:772.1ク
ISBN:978-4-473-04194-4

プリマバレリーナとして長年活躍し、引退後女優として新たな表現の場を広げる著者が、古典芸能の舞踏家たちと対談します。ジャンルの違いはあるものの、ダンサーならではの感性で投げかける会話が面白い。伝統を守り、今もまだ精進し続ける彼らの情熱に感動します。



『おわらない音楽』

小澤征爾／著 日本経済新聞出版社
請求記号:762オ
ISBN:978-4-532-16933-6

世界の音楽ファンを魅了する指揮者・小澤征爾の自伝的エッセイ。日本人である自身が、西洋音楽をどこまで理解できるかを多くの出会いに支えられながら探究する姿は圧巻。世界の「オザワ」を知ることができる素敵な本です。



『日本の身体』

内田樹／著 新潮社
請求記号:114ウ
ISBN:978-4-10-330013-7

日本人には日本人固有の身体観があり、それに基づく固有の身体技法がある。能楽と合気道に親しむ思想家がその仮説を検証するために、茶道家、漫画家、尺八奏者、元大相撲力士などのさまざまな身体技法の達人たちに技術的な話をうかがう。



『モネ、ゴッホ、ピカソも治療した絵のお医者さん 修復家・岩井希久子の仕事』

岩井希久子／著 美術出版社
請求記号:724イ
ISBN:978-4-568-22136-7

日本の絵画修復の第一線で活躍する著者が、普段はみることのできない修復の現場を語ります。また、日本の美術館の現状、修復家だけが知っている絵の秘密など、修復にまつわるあらゆるドラマが詰まっています。予防と現状維持、しかし時には何もしない選択もするという修復家の仕事。目から鱗の一冊です。



豊富な経験と長年の鍛錬によりその道の神髄を体得した人、深く物事の道理に通じた人、人生を達観した人など、達人と呼ぶに相応しい人物に関わる本を幅広く集めました。彼らの人となりを知れば、ますます興味が湧いてくることでしょう。



新着図書コーナー



『龍馬暗殺』

桐野作人／著 吉川弘文館

請求記号:215.8キ

ISBN:978-4-642-05862-9

その悲劇的な最期と人気の高さゆえ、明治以降肥大化した「龍馬伝説」。史実と虚構の境界が曖昧になっている現状に著者がせまる。事実か？物語か？現存する史料に基づき、五つの視点から近江屋事件を述べる。



『フランス香水伝説物語 文化、歴史からファッションまで』

アンヌ・ダヴィス／著 ベルトラン・メヤ＝スタブレ／著

清水珠代／訳 原書房

請求記号:570タ

ISBN:978-4-562-05490-9

フランスの香水の中から、シャネルの五番、ニナ・リッチのレールデュタンなど、15の「伝説の香水」を紹介。ブランドの歴史、背景、香水を作る技術や名調香師達の技を知る事で、名香の魅力が、さらに深まります。



『家と庭と犬とねこ』

石井桃子／著 河出書房新社

請求記号:BGイ

ISBN:978-4-309-41591-8

日本の児童文学を支えた作家・翻訳家である著者による随筆集。子供の頃の思い出、戦後すぐの農業と村での生活、飼い猫や犬との出会いなど、戦前～戦後の都会と田舎での暮らしを、まっすぐで冷静、時に温かく見つめ、美しく端正な文章で綴られています。



『電動工具の使い方 基本的な操作法を写真で詳細解説』

スタジオタッククリエイティブ

請求記号:532ス

ISBN:978-4-88393-814-8

DIYで活用できるハンディタイプの電動工具の基本的な操作法を紹介。オールカラーの写真で、初めての方でも安心して使用できるよう解説されています。これらの正しい使い方をマスターすれば、DIYの世界がさらに楽しく広がること間違いなしです。



えいふくイベントレポート

★5月13日(日)午後2時～3時

「新緑えいふく寄席」

今年も杉並江戸落語研究会の方に口演をお願いしました。小学生の高円寺亭しば犬(こうえんじてい しばけん)さんは大人気。母の日の日曜日のためか、親子で参加される方もいらっしゃり、小学生は8名参加がありました。



図書館で笑って福招き！ 来年もお楽しみに！



今月のスポット展示 6/8(金)～7/4(水)

「本でめぐる 世界・日本・東京の旅」

お天気がすっきりしないこの梅雨の時期、読書でどこかへ出かけませんか？
実用的なガイドブックとはまたひと味違う、読んで楽しい旅の本を集めました。

永福図書館からの

お知らせ

開館時間 (月曜～土曜) 午前9時～午後8時
(日曜・祝日) 午前9時～午後5時

6月の休館日

6月7日(木)、21日(木)

おひさま文庫の紹介

永福図書館の児童室には、子どもたちのための図書の他に、おひさま文庫というコーナーがあるのをご存知でしょうか？

このコーナーでは、児童のご家族や先生、保育士、読み聞かせボランティアさんなど、子どもと本をつなぐ大人のみなさんに役立つ本を選び“おひさま文庫”として紹介しています。

どんな本を読んであげたらいいか悩んだら「おひさま文庫」をぜひ手に取ってみてください。

コーナーは児童室入り口すぐの右奥です。わからない場合はスタッフにお声がけください。

一本の取扱いについてのお願い

水濡れ、汚損、破損された本の返却が増えています。本は湿気や水をすぐに吸収してしまいます。持ち運ぶ時はビニール袋に入れる、飲食物を近くに置かない等、マナーを守って利用してください。

万が一借りた本を紛失、破損してしまった場合は、まず図書館にご連絡ください。破損した本をご自身で修理することはおやめください。

状態によっては弁償していただくこともございますので、取り扱いには十分注意しましょう。大切な蔵書をより長く利用できるようご協力をお願いいたします。

問合せ：永福図書館 (杉並区永福4-25-7 ☎ 03-3322-7141)

永福の本棚 2018年6月号 (通巻251号)

※書籍の表紙画像は、出版社の許諾を得て掲載しています。